

平成 27年度 播磨町水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

本年度の給水業務状況は、給水装置数が前年比で160栓（1.0%）増の15,631栓、給水人口は55人（0.2%）減の34,662人となりました。

なお、年間有収水量は、21,863m³（0.6%）減の3,551,078m³となっており、給水装置数が増加したものの給水人口の減少と節水意識の向上に伴って減少傾向が続いています。

配水施設工事については、大中地区（第33工区）管渠布設工事に伴う配水管布設替工事や西野添地区配水管布設替工事、向橋水管橋更新工事などを行いました。

鉛給水管布設替工事については、土山駅北側と新島地区を行い、平成18年度から10年に渡り計画的に実施して参りました事業は本年度で終了しました。

浄水場関連施設では第3配水池配水ポンプ設備更新工事や第3浄水場ろ過池原水流入弁取替工事などを行いました。

経営状況（税抜）については、総収益が 613,687,258円に対して、総費用が 544,206,664円で、当年度純利益 69,480,594円を計上しました。

水道事業収益の主なものは、水道料金 505,173,305円（82.3%）、長期前受金戻入[※注1] 84,627,203円（13.8%）で、収益全体の96.1%を占めています。

一方、水道事業費用の主なものは、減価償却費 222,269,806円（40.8%）、支払利息及び企業債取扱諸費 29,891,355円（5.5%）、職員給与費 58,812,373円（10.8%）、県水受水費 60,835,680円（11.2%）、動力費 42,491,913円（7.8%）で費用全体の76.1%を占めています。

以上の結果、供給単価は142.26円、給水原価は153.06円[※注2]になりました。

資本的収支（税込）については、総収入額が 167,890,772円に対して、支出は建設改良費が 143,096,184円、企業債償還金 97,054,384円で総支出額 240,150,568円となりました。

なお、不足する 72,259,796円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 5,480,688円、減債積立金 23,000,000円、過年度分損益勘定留保資金 43,779,108円で補てんしました。

以上が平成27年度における経営並びに事業実施の概要であります。今後におきましても住民に安全で低廉な水を安定的に供給するため、水源の確保と効率的な事業運営に取り組み、公共福祉の向上に努める所存です。

<注1>

地方公営企業会計制度の見直しにより、平成26年度から償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金等については、「長期前受金」として負債（繰延収益）に計上した上で、減価償却見合い分を「長期前受金戻入」として順次収益化する。（地方公営企業法施行令第26条、地方公営企業法施行規則第21条）

<注2>

長期前受金戻入控除前数値